

神津村橋梁長寿命化修繕計画

背景と目的

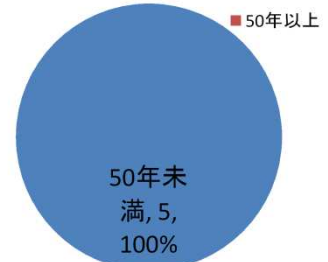
神津村が管理する道路橋は、5橋あります。

最も最初につくられた橋は、やよい橋で昭和51年です。その後、天神橋(昭和54年)、潮見橋(昭和61年)、松工橋(昭和63年)、千歳橋(平成3年)の順で、これらの橋梁全てが生活道路として重要な役割を担っています。

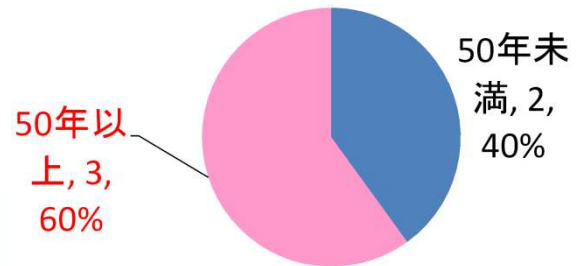
島の災害対策として、高度経済成長期に橋梁を整備しており、これから20年後には、約6割(3橋)の橋梁が老朽橋の目安となる「建設から50年」を超えることとなり、修繕や架替え費用の急増が予想されています。

そこで、これまでのように壊れてから修繕したり、架替えたりといった後追いの対応から、長寿命化修繕計画を策定して、早め早めの対応へ転換することにより、修繕の費用や架替えにかかる費用の削減を図ります。

2010年
50年以上, 0, 0%



2030年



長寿命化修繕計画の概要

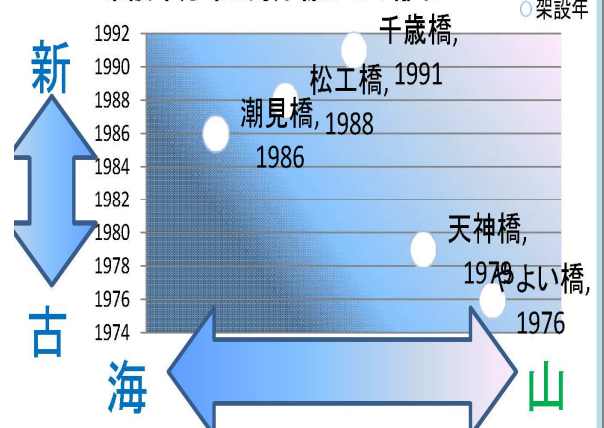
◎計画を策定する橋梁

今回は、神津村に架かる全橋梁5橋を対象としました。



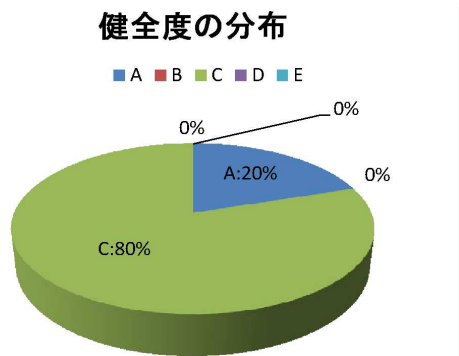
【橋梁位置図】

架設年分布と海岸線からの離れ



◎神津島の橋梁の状況

今回計画対象の橋梁 5 橋のうち、健全性の高い総合評価 A, B の橋梁は 20%(1 橋)で、劣化が進みつつある、総合評価 C の橋梁が、80%(4 橋)となっています。また、健全性の低い総合評価 D, E の橋梁はなく、現時点で早急に修繕を進めなければならない橋梁はありません。



【主桁剥離鉄筋露出状況】

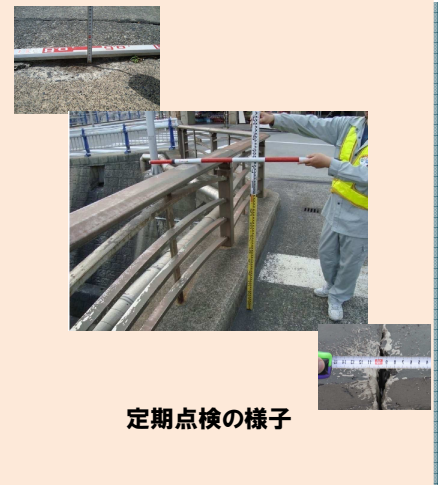


【橋台ひび割れ状況】

◎日常の維持管理の方法

従来どおりの日常パトロールを中心とした維持管理により、異常や修繕必要箇所の早期発見に努めるとともに、小規模な修繕および清掃などを適時行います。

さらに、「橋梁点検要領」、「橋梁点検マニュアル」に基づいた定期点検を実施することで、橋梁の状態を正確に把握し、島民の安全を確保します。



定期点検の様子

◎今後の予定

今後も引き続き、定期的な点検を実施することにより、橋梁の損傷状況を把握して、計画的に補修を実施し、橋梁の適切な維持管理に努めていきます。

◎意見をいただいた有識者

(神津村橋梁長寿命化修繕計画策定検討会)

首都大学東京 大学院都市環境科学研究科 都市基盤
境学域 宇治 公隆 教授から御意見をいただきました。

調査内容の詳細については、神津村役場建設課
までお問い合わせください。 電話 04992-8-7757



検討委員会の様子